



公開講座：グローバル社会におけるキャリアパスの講師を囲む

▶ 学部グローバル開発とイノベーションプログラムが公開講座「企業・国際機関との対話：グローバル社会におけるキャリアパス」を開催

5月10日、学部グローバル開発とイノベーションプログラム (BGDI) が公開講座「企業・国際機関との対話：グローバル社会におけるキャリアパス」を開催しました。この公開講座では財務省、ドイツ国際協力公社 (GIZ)、経営共創基盤 (IGPI, 日本のコンサルティング会社) の関係者が登壇し、イノベーション、公共政策、持続可能な開発、多文化環境で働くために必要な知識や技能について、実務に基づく視点を共有しました。

このセミナーは、グローバル開発や国際的なキャリアに関心を持つ学生にとって貴重な学びの機会となっただけでなく、今年度の受験生や保護者にとっても、日越大学、特にBGDIプログラムの教育内容を理解する機会となりました。

今月号の内容

- 学部グローバル開発とイノベーションプログラムが公開講座「企業・国際機関との対話：グローバル社会におけるキャリアパス」を開催
- 日越大学関係者が高市早苗首相外交政策スピーチに参加
- 学部メカトロニクスと日本型ものづくりプログラムが Meiko Electronics Vietnam を訪問、電子基板製造の現場を学ぶ
- 日本語教育プログラム JICA 専門家 齊藤真美先生のご紹介
- “未来の農業”を体感 ESAS 学生が Denso Vietnam を訪問
- 学部グローバル開発とイノベーションプログラム 1 年生が国際 NGO Action on Poverty 実務経験
- Lunch Petit Seminar 特別回を開催、研究提案作成と学術力向上を議論
- 無人航空機技術セミナーを開催、先端工学・技術学部・研究科の学生が専門家から最新動向を学ぶ
- 日越大学チーム「LOOPÉ」、ベトナム国家大学ハノイ校スタートアップ・コンテストで優勝

▶ 日越大学関係者が高市早苗首相外交政策スピーチに参加

5月2日、高市早苗首相がベトナム国家大学ハノイ校にて、外交政策スピーチを行いました。日越大学スタッフはベトナム国家大学ハノイ校スタッフと共に本イベント準備を行い、当日からは学生、教員、JICA 専門家が参加し、日越両国の高等教育・人材育成分野における協力の重要性を改めて実感する機会となりました。

日越大学からは学部日本学プログラム1年生の Nguyễn Lê Yên Trang さんが、学生代表として高市首相に花束を贈呈しました。Yên Trang さんは日越大学での1年目前期で GPA 3.94/4.0 という優秀な成績を納めています。首相の近くに立ち、親しみやすさや丁寧な外交的ふるまいを感じたことを、非常に圧倒される経験だったと語っています。



Yên Trang さんと 高市首相

▶ 学部メカトロニクスと日本型ものづくりプログラムが Meiko Electronics Vietnam を訪問、電子基板製造の現場を学ぶ

5月12日、日越大学の学部メカトロニクスと日本型ものづくり（EMJM）プログラム2・3年生が、「自動制御工学」の授業の一環として Meiko Electronics Vietnam を訪問しました。同社は日本のメイコーグループに属し、ハノイの Thạch Thất 工業団地でプリント基板の設計・製造、電子部品・完成品の組立を行っています。約6,000人が働く大規模な拠点には、生産工場、貯水設備、従業員寮なども整備されています。

学生たちは工場内で安全・保護規則を確認したうえで、製造工程を見学し、メカトロニクス技術者の日常業務を具体的に理解しました。さらに、学部日本学プログラムの卒業生で、現在同社で働く Bích Thủy さんと Trang Nhung さんが、職場環境、キャリア形成、福利厚生、就職活動の経験を共有しました。Meiko Vietnam 側は、日越大学の学生を1~3か月のインターンシップに歓迎する意向も示しており、学びと就職を結ぶ実践的な連携事例となっています。



真剣な姿勢で工場見学に臨む学生



日本語教育プログラム JICA 専門家 齊藤真美先生のご紹介

今月号では日本語教育プログラムを支援している齊藤真美先生より、先生の研究内容や日越大学での活動内容などについてお話を伺いました。

日越大学の専門家に着任する前は何をされておりましたか。

主に独立行政法人国際交流基金の日本語教育専門家としてインドネシア、カナダ、オーストラリアなどで各国の日本語教育支援に携わってまいりました。



齊藤真美先生

日本語教育に携わって 30 年のうち、半分近くが海外での活動となっています。

先生の研究分野について教えてください。

研究分野は大きく分けて 4 つあります。研究に携わって一番長いのは外国人介護福祉士の日本語学習支援です。介護福祉士国家試験の分析や、オンライン教材の開発など現在も続けています。つぎは市民リテラシーについての研究です。多文化共生社会のために私たちに何ができるかを考えています。どちらも日本にいる外国人の方を支援するために研究チームのメンバーと活動をしています。個人で進めている研究は AI・ICT を利用した教育についてです。ここ最近の AI の発達により、教育現場の大きく変化してきています。その中で教師がどのような役割

を果たせるのか、評価をどのように変えていくべきなのかを研究しています。最後に日越大学に来てから始めた研究が、理系学習者のための日本語教育です。これは日越大学の先生方と一緒にすすめています。理系学習者のためにどのような学習デザインが効果的かについて研究、改善を進めています。

日本語教育の JICA 専門家としてどのような活動を行われていますか？

技術移転を主眼に、担当する授業の教材作成や、試験の作成などを行っています。そのほか、教員研修の実施や、先生方の研究支援も行っています。また、専門家の視点を生かしたコースデザインやシラバスの作成、改善、理系コースの運営など業務が多岐にわたります。

授業以外では、学生のために日本語能力試験 (JLPT) 対策講座を実施したり、スピーチコンテストのサポートや、イベント支援、学部の卒業論文の指導なども行っています。



JLPT 対策講座の様子 (関連記事: [2025 年 12 月号](#))

▶ “未来の農業”を体感 ESAS 学生が Denso Vietnam を訪問

4月13日、学部スマート農業とサステナビリティプログラム（ESAS）の2年生17名が、DENSO MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD. (DMVN) を訪問しました。DMVNでは、ベトナム農業が抱える低生産性という課題の解決に向け、自動車分野で培った技術を活用したスマート農業の実証試験に取り組んでいます。参加した学生たちは、調量バルブや土壌センサー等を活用した生産性向上の仕組みについて説明を受けた後、実証圃場を視察し、スマート技術を活用した作物栽培の様子を見学しました。講義で学んだ知識が実際の農業現場でどのように活用されているのか、学生たちの真剣に学ぶ姿勢が見られました。質疑応答の中では、同社でのインターシップの受け入れの可能性を尋ねる質問もあり、同社からは受入を前向きに検討したいとの温かい言葉をいただきました。ESASによるDMVN訪問は今年で3年目となります。日越大学では今後も日本企業との連携を通じた実践的な教育活動を推進していきます。



Denso Vietnam 訪問の様子

▶ 学部グローバル開発とイノベーションプログラム1年生が国際 NGO Action on Poverty で実務経験

日越大学の学部グローバル開発とイノベーション（BGDI）プログラムに所属する Nguyễn Phương Anh さんと Lưu Quang Minh さんが、国際 NGO Action on Poverty（AOP）で企業連携・スポンサーシップ補佐のボランティアとして実務経験を積んでいます。2人は4月末から活動を開始し、研究や企業連携に関わる業務、実務の進め方、組織における協働のあり方を実践的に学ぶことなどを通じて、大学での学びを社会の現場につなげています。AOPは2026年3月に日越大学とMOUを締結し、持続可能な開発と結びついた教育を推進しています。協定では、学生の実践力や就職力を高めるため、インターンシップや専門的なボランティア機会の提供が重視されています。1年生の段階から実社会と接点を持つ今回の経験は、日越大学が掲げる実践的かつ国際的な教育を象徴する歩みです。

▶ Lunch Petit Seminar 特別回を開催、研究提案作成と学術力向上を議論

5月21日、日越大学ミーディングキャンパスで、Lunch Petit Seminarの5月特別回「研究提案書の作成：経験と教訓」が開催されました。同セミナーはベトナムの科学技術・イノベーションの日（5月18日）を記念する活動として行われ、研究活動に関心を持つ教員、若手研究者、学生が50名参加しました（オンライン参加者35名を含む）。

国内外20件以上の研究プロジェクトに参画した豊富な実績がある先端工学・技術学部・研究科（FATE）所属の Nguyễn Thị Hoàng Hà 准教授が、気候変動適応、持続可能性科学、環境技術に関する研究経験をもとに、研究テーマの形成や資金申請の実践を共有しました。また、学部グローバル開発とイノベーション（BGDI）プログラムディレクターの Lương Minh Phương 博士は、企業・国際機関との協働研究や、社会的公正、人間の幸福、持続可能な発展に向けた研究の意義を語りました。研究テーマの組み立て方や外部資金への申請を具体的に学ぶ機会となりました。



真剣にセミナーに参加する大学院生と教職員

▶ 無人航空機技術セミナーを開催、先端工学・技術学部・研究科の学生が専門家から最新動向を学ぶ

5月20日、日越大学ホアラックキャンパスで、先端工学・技術学部・研究科（FATE）が無人航空機（UAV）技術に関するセミナーを開催しました。テーマは「UAV技術の発展動向と応用の概観」で、デジタルトランスフォーメーションや自動化が進む中でのUAVの技術的発展について、学生が体系的に学ぶ機会となりました。内容は、自律制御、人工知能、コンピュータビジョン、GPS（全地球測位システム）に依存しない航法、複数UAVの協調に関するものでした。

講師には、HTI Group傘下のHTI UASでUAV研究開発エンジニアを務める Đinh Xuân Minh 氏をお迎えしました。学生たちは、スマート農業、インフラ監視、救助・災害対応、物流、スマートシティ、防衛・安全保障など、多様な分野におけるUAVの応用例を学びました。さらに、講義内では自律飛行機器のデモンストレーションも行われ、学部インテリジェント制御とオートメーション（BICA）プログラムの専門科目で扱うUAV機器についても理解を深めました。先端技術の実機に触れながら主体的に学ぶ、実践的な教育機会となりました。



▶ 日越大学チーム「LOOPÉ」、ベトナム国家大学ハノイ校スタートアップ・コンテストで優勝

5月22日、ベトナム国家大学ハノイ校 (VNU) 学生支援センター主催のイベント「CSS Connect 2026 (ジョブフェア&イノベーション・デー)」が開催されました。本イベントは、50社以上の企業が参加し、1,000以上の求人・インターンシップ枠が提供される大規模なジョブ・フェアと、起業コンテストの決勝戦を組み合わせた「学生支援のエコシステム」として実施されました。

そのメインプログラムである2026年度「中高生・大学生スタートアップ・アイデア・コンテスト」において、日越大学の学部グローバル開発とイノベーションプログラムおよび学部食品工学と健康プログラムの学生から構成された学際的なチームが提案したプロジェクト「LOOPÉ」が、60以上の候補の中から第1位に輝きました。

今回のコンテストは「地域社会と持続可能な開発のための革新的製品」をテーマに掲げ、VNUの寮を拠点とした起業家育成スペース「DormLab」の一環として開催されました。優勝した「LOOPÉ」は、食品・飲料 (F&B) 業界で排出される果物の皮などの副産物をリサイクルし、商業価値の高い精油 (エッセンシャルオイル) へと転換する循環型経済のプロジェクトです。廃棄物を80%以上削減するこの革新的なソリューションは、環境保護と経済性を両立させた点が高く評価されました。



優勝した日越大学チーム

■ 日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook

<https://www.facebook.com/vnu.vju/>

JICA プロジェクトページ (ODA 見える化サイト、メルマガのバックナンバーもこちらから)

<https://www.jica.go.jp/oda/project/1901195/index.html>

■ 産学連携・採用に関する問い合わせ

E-mail: cooperation@vju.ac.vn

■ メルマガに関するお問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクトメルマガ編集部

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト